

妙高西条農園 おたより

No. 1 2 6
6 月 号
2021. 6. 23

専用機での田ノ草取り

植えた苗も分けつが進み稲丈もだいぶ生長しましたが、ヒエ、ホタルイ等の雑草も旺盛に伸びてきます。当農園では以前から除草剤の使用のできるだけ減らし、雑草の多く

繁茂した圃場では写真のような、除草機を使って、雑草を駆除していますが、暑い日中の作業では中々大変です。50年前までは、全て人の手で草取りを行っていました。草取りは中腰での作



エンジン付き除草

業で、農作業の中では一番の重労働でした。その後、エンジンなしの除草機が出回り、現在ではエンジン付きの除草機が開発され、少しは楽になりました。

中干し（溝切り）の効果

田植えから1ヶ月を過ぎると圃場の苗も丈が25cm以上、1株当たり本数も15〜18本程に分けつしてきましたので、圃場の中干しを開始



中干し（溝切り）の終わった圃場



溝切り機田面ライダー

し、併せて溝切り（江立て）を行いました。

中干し・溝切りの効果として、**・過剰生育（無効分けつ）抑制・下位節間の伸長抑制・土壌への酸素供給・収穫作業持の地耐力確保・迅速かん水、落水等色々考えられています**が、私のこれまでの稲作り経験から考えられるのは、圃場の水を干されることで、植えられた稲は、水を求めて圃場の土壌深くまで根を伸ばすことです。

これにより、圃場深部の残った肥料まで、効率よく吸収し、**地中深くまで根を張ること**で、秋の倒伏抑制効果につながる効果が期待できるも



庭のザクロ花

のと思っています。

溝切り（江立て）作業は、エンジン付きの専用機で行いますが、Uターンの際には、機械を持ち上げるため、中々の重労働ですが、作業終了時のビールの一杯を楽しみに汗をながして頑張っています。

3回目の畦道草除草

気温が上がリ梅雨を迎えると畦道の雑草も旺盛に伸びるため今年に入り3回目の除草作業を行っています。この作業も機械を使い分け行いますが、夕食前の冷えたビールを想像しての作業がつづきます。



今年の黒ニンニクの生産

3年前から黒ニンニクを生産を始めたのですが、今年はいくらまでになく良質のニンニ



生ニンニクの乾燥

クが収穫出来ました。幸いにもなんの病虫害にもかからなかったことから、有機肥料で無農薬での妙高西条農園産のニンニクを使った黒ニンニクが今月末には出来上がりますのでご期待下さい。



黒ニンニクの試作品

ご注文はTel・fax・メールから
お願いします。

発行者

〒944-0023 新潟県妙高市西条755
妙高西条農園池田博子
TEL 0255 72 3497
Fax 0255 72 2908